DeviceControl
デバイスコントロール 管理者ツール

取扱説明書

第 10 版

ed-contrive®
イーディーコントライブ株式会社

目　次

はじめに

DeviceControl 管理者ツールでできること---------------------------------------3
同梱品---3
動作環境---4
DeviceControl 管理者ツールのインストール------------------------------------4
DeviceControl 管理者ツールのアンインストール--------------------------------4

DeviceControl 管理者ツールの操作

DeviceControl 管理者ツールの起動--5
ホワイトリスト(許可リスト） --5
USB ストレージ追加---6
USB ストレージ追加ダイアログ---6
USB ストレージの参照---7
初期化ツール ID の確認---7
読み取り専用設定---7
ドライブレター追加---8
ホワイトリストの編集と削除---8
ホワイトリスト以外---9
Windows 標準機能---9
アンインストールパスワード--10
高度な設定--10
設定読込み--11
設定保存--11
クライアント用インストーラの作成--12

クライアント用インストーラの操作-----------------------------------13

その他

ホワイトリストの適用について--15

DeviceControl ソフトウェア使用許諾書--------------------------------16

◎Microsoft、Windows、Windows XP/Vista/7 は、Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
◎TRAVENTY™はイーディーコントライブ株式会社の登録商標です。
◎イーディーコントライブロゴは、イーディーコントライブ株式会社の商標です。本誌に記載されている他社名、他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

はじめに

DeviceControl 管理者ツールでできること

DeviceControl 管理者ツールは、USB ストレージデバイス等の利用を制限する DeviceControl のクライアント用インストーラを作成するソフトウェアです。
作成されたクライアント用インストーラを利用し DeviceControl をインストールすることにより USB ストレージデバイス等の利用制限や書き込み制限などの制御が行えます。

同梱品

DeviceControl 管理者ツールには、次のものが同梱されています。開封後、ご確認ください。

CD-ROM　1 枚

* 同梱品が足りないときや破損しているときは、当社もしくは販売店にご連絡ください。

はじめに

動作環境

DeviceControl 管理者ツール及びクライアント用インストーラ

OS	Microsoft Windows 7 Ultimate/Professional/Home Premium/Starter/Enterprise （～SP1）（64bit/32bit） Microsoft Windows Vista Ultimate/Home Premium/Home Basic/Business/Enterprise （～SP2）（64bit/32bit） Microsoft Windows XP Home Edition/Professional（SP2,SP3）（32bit） ※いずれの OS も日本語版のみ対応
CPU	OS の最低動作要件を満たすこと
メモリ	OS の最低動作要件を満たすこと
動作確認済ストレージ	TRAVENTY™ SuperVision シリーズ・TRAVENTY™ CG シリーズ・TRAVENTY™ Light シリーズ・TRAVENTY™ シリーズ・Sdcontainer 5.0 シリーズ・Sdshelter 2.0 シリーズ *※上記以外は動作保証の対象外となります。*
その他	・管理者権限を持つアカウントでインストールする必要があります。 ・インストールには CD-ROM を再生できる倍速以上のドライブが必要です。 ・USB ポート：USB2.0 が必要です。Microsoft 純正の USB ドライバ以外で動作する増設 USB ポートでは動作しない場合があります。 ・ファイルアクセスに対して制限をしているため、ファイルシステムを介さないデバイスへのアクセス制御は行えません。例）CD-R/DVD-R へのライティング、ストレージのフォーマット、ストレージ以外のデバイス（ﾏｳｽ/ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ/ﾌﾟﾘﾝﾀ/...etc）

本マニュアルは Windows 7 での利用を例として記載しております。Vista、XP でご利用の場合はそれぞれ読み替えてご利用ください。

DeviceControl 管理者ツールのインストール

コンピュータの CD-ROM ドライブに DeviceControl 管理者ツールの CD を挿入します。CD-ROM ドライブの［Setup_SDDC.exe］をダブルクリックします。インストーラに従って操作してください。

DeviceControl 管理者ツールをアンインストール

［スタート］→［コントロールパネル］→［プログラムのアンインストール］をクリックします。［DeviceControl 管理者ツール］を選択し、アンインストールを行ってください。

※クライアントにインストールした［DeviceControl］をアンインストールする際には、管理者ツールで設定したアンインストールパスワードが必要となります。後述の「DeviceControl 管理者ツールの操作」で設定するアンインストールパスワードは大切に保管してください。

DeviceControl 管理者ツールの操作

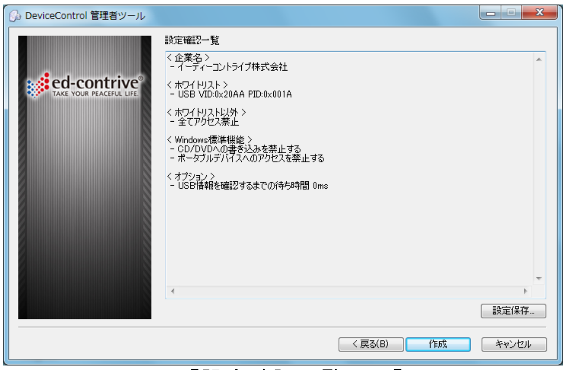
DeviceControl 管理者ツールの起動

［スタート］→［すべてのプログラム］→［ED-CONTRIVE］→［DeviceControl］→［DeviceControl 管理者ツール］を選択します。DeviceControl 管理者ツールが起動します。

※DeviceControl 管理者ツールは「設定画面」「設定確認一覧画面」の 2 画面と各ダイアログで構成されます。

[設定画面]でポリシーを設定後[次へ]をクリックすることで、[設定確認一覧画面]が表示されます。

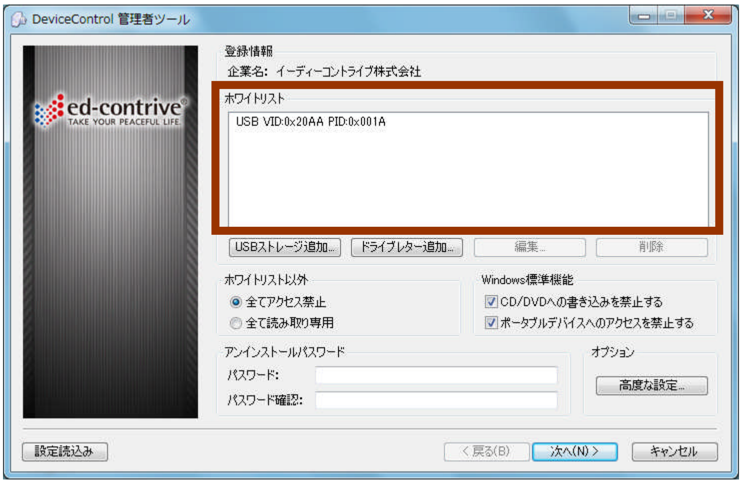
【設定画面】



【設定確認一覧画面】

ホワイトリスト(許可リスト)

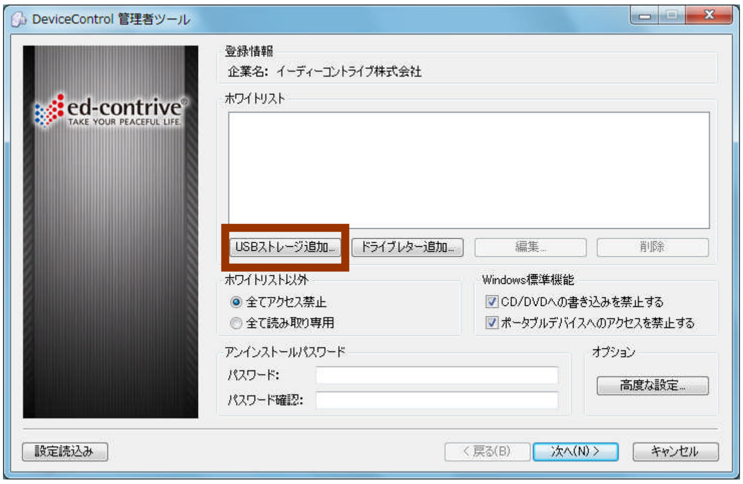
利用許可する USB ストレージの識別情報等が一覧で表示されます。



DeviceControl 管理者ツールの操作

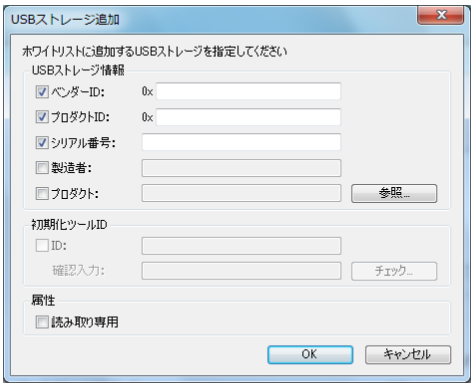
USB ストレージ追加

ホワイトリストに追加する場合は、「USB ストレージ追加」よりダイアログを表示します。



USB ストレージ追加ダイアログ

ホワイトリストに許可する USB ストレージの情報を入力し[OK]をクリックすることで、ホワイトリストに追加されます。



各設定項目を有効にすることで、入力が可能になります。また、有効になっている設定項目のみがホワイトリストに追加されます。

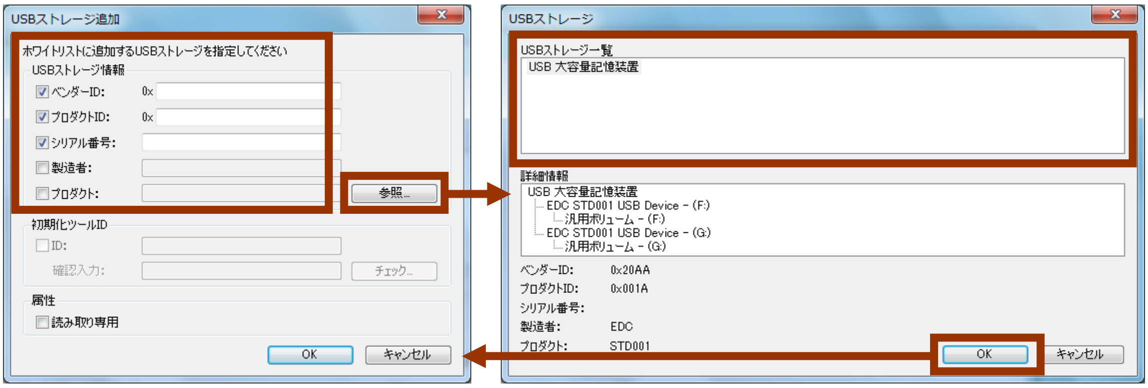
＜設定可能な項目＞
ベンダーID、プロダクト ID、シリアル番号
製造者、プロダクト、初期化ツール ID、属性（読み取り専用有無）

初期化ツール ID は TRAVENTY™ SuperVision シリーズ、TRAVENTY™ CG シリーズ、TRAVENTY™ シリーズ、Sdcontainer 5.0 シリーズ、Sdshelter 2.0 シリーズである場合のみ利用できます。TRAVENTY™ Light シリーズは利用できません。

DeviceControl 管理者ツールの操作

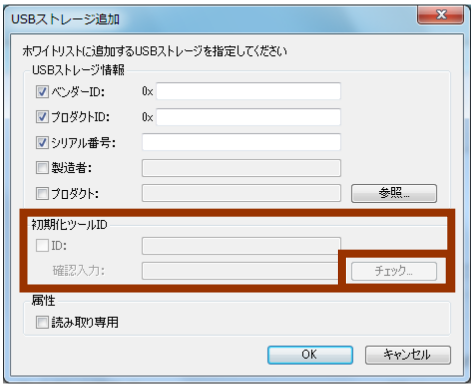
USB ストレージの参照

USB ストレージを接続して[参照]をクリックすることで、現在接続されている USB ストレージの情報が表示されます（下図右）。USB ストレージ一覧で該当 USB ストレージを選択後[OK]で、USB ストレージ追加ダイアログに USB ストレージ情報が自動入力されます。



初期化ツール ID の確認

USB ストレージを接続して初期化ツール ID を入力後[チェック]をクリックすることで、入力した初期化ツール ID が正しいか確認できます。



＜初期化ツール ID を利用できる USB メモリ＞

・TRAVENTY™ SuperVision シリーズ

・TRAVENTY™ CG シリーズ

・TRAVENTY™ シリーズ

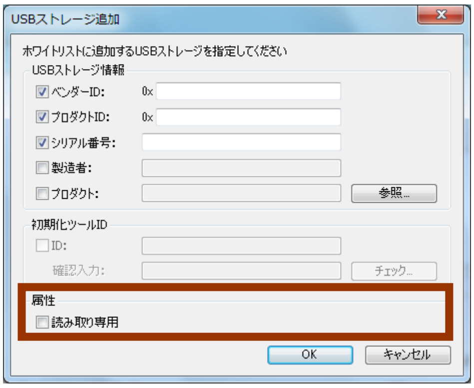
・Sdcontainer 5.0 シリーズ

・Sdshelter 2.0 シリーズ

※上記製品のベンダーID、プロダクト ID の値が入力されている場合のみ利用できます。TRAVENTY™ Light シリーズは利用できません。

読み取り専用設定

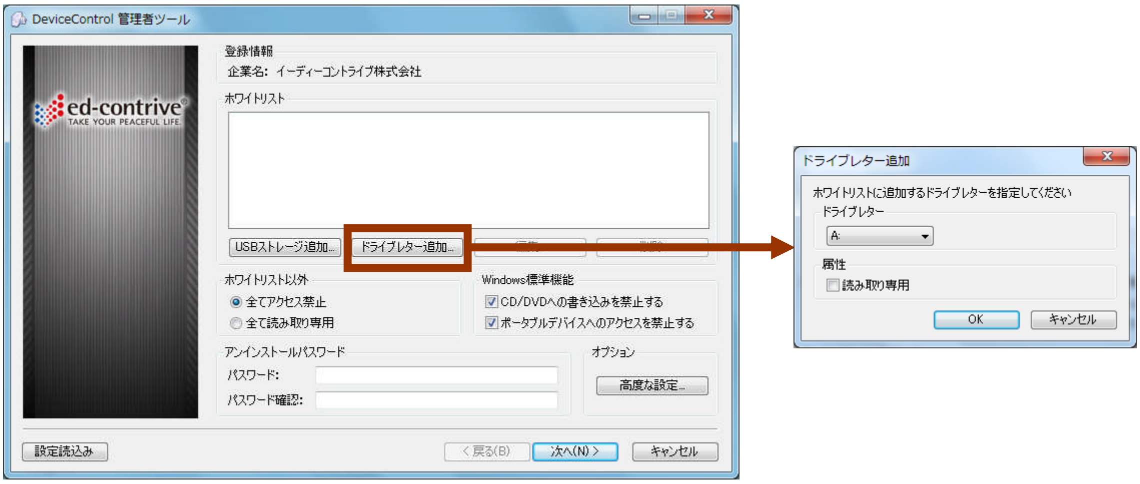
属性の[読み取り専用]を有効にすることで、指定した USB ストレージを読み取り専用に設定することができます。



DeviceControl 管理者ツールの操作

ドライブレター追加

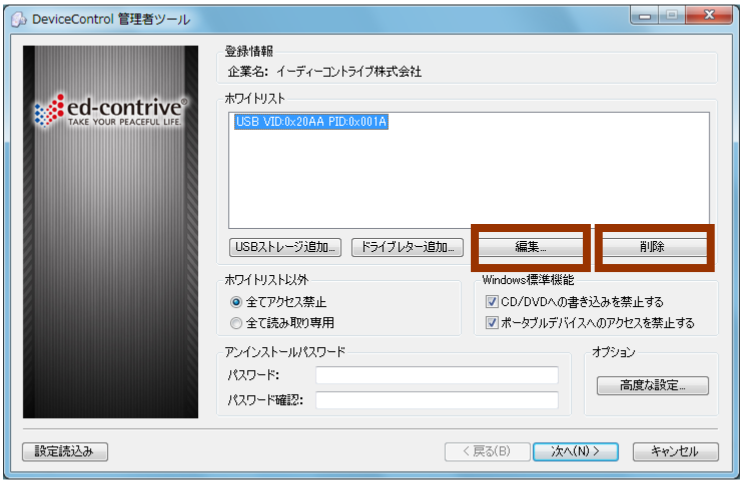
ホワイトリストに追加する場合は、「ドライブレター追加」よりダイアログを表示します。



ドライブレターを選択し[OK]をクリックすることで、ホワイトリストに追加されます。
※属性の[読み取り専用]を有効にすることで、読み取り専用に設定することができます。

ホワイトリストの編集と削除

ホワイトリストの USB ストレージまたはドライブレターを選択中のみ[編集][削除]ボタンが有効になります。

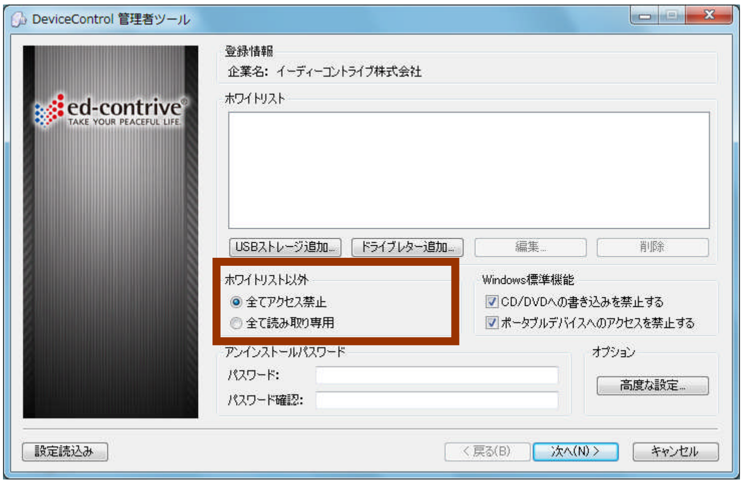


[編集]をクリックすることで、選択中の USB ストレージまたはドライブレターのダイアログが開き変更することができます。
[削除]をクリックすることで、選択中の USB ストレージまたはドライブレターを削除することができます。

DeviceControl 管理者ツールの操作

ホワイトリスト以外

ホワイトリストに登録されていない USB ストレージ、ドライブレターの動作について設定します。



＜選択できる動作＞

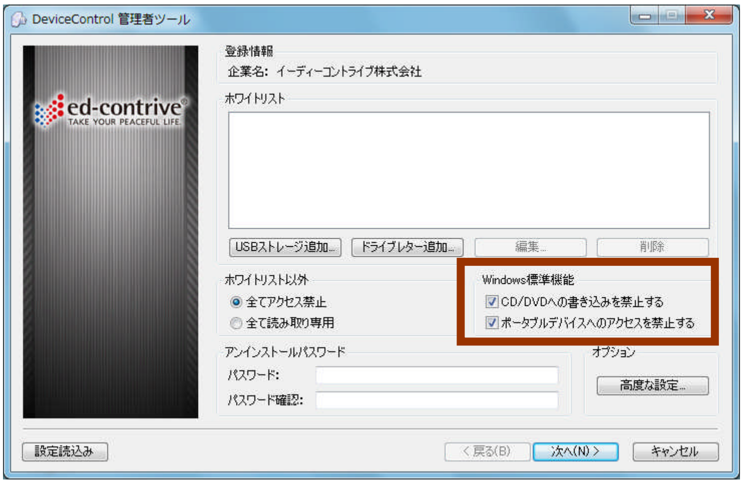
・全てアクセス禁止

・全て読み取り専用

Windows 標準機能

WindowsXP 以降に標準搭載されている「CD・DVD への書き込み機能、およびポータブルデバイスへのアクセス機能」について制限を行います。

※標準搭載機能の制限であり、すべて制限できるわけではありません。



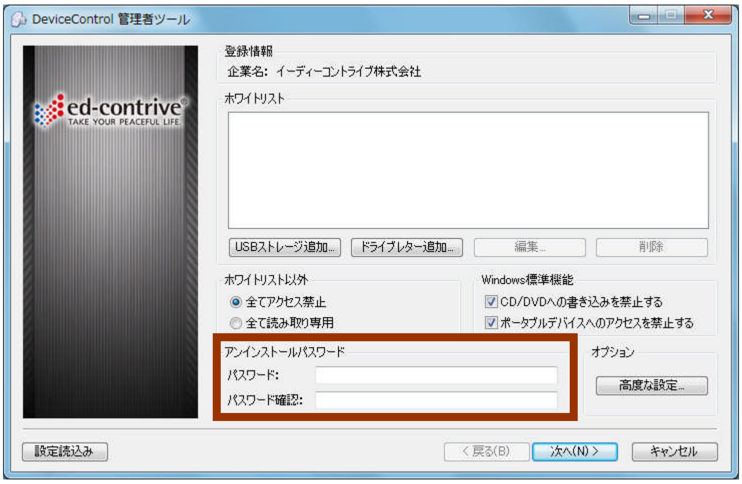
DeviceControl 管理者ツールの操作

アンインストールパスワード

DeviceControl をアンインストールする際のパスワードを設定します。

＜使用可能文字＞

※半角英(大/小文字)数字記号



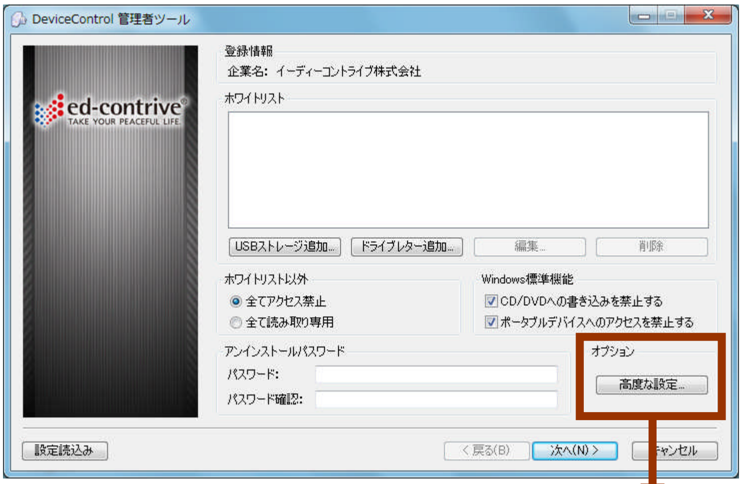
※　アンインストールパスワードは利用者がアンインストールできないようにするために設定します。パスワードの取り扱いには十分注意をしてください。

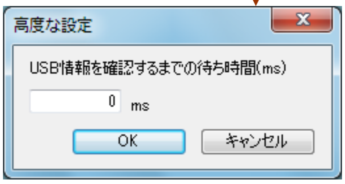
高度な設定

DeviceControl が USB 情報を確認するまでの待ち時間を設定します。

1000ms＝1 秒となります。

0ms＝通常





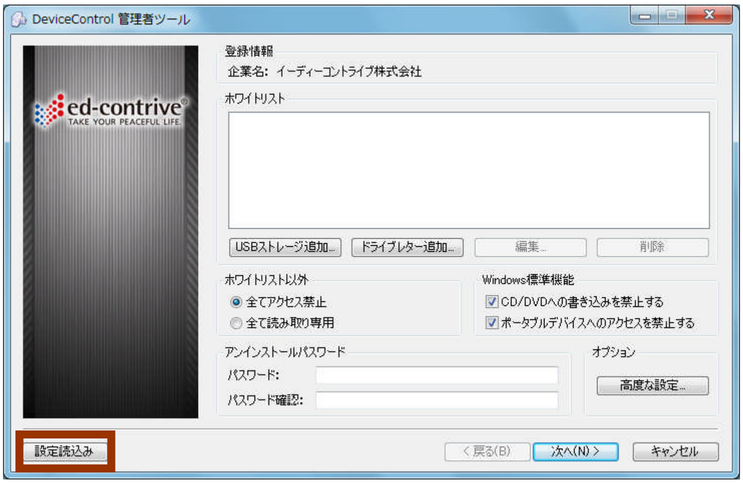
※一部の USB メモリで USB メモリ情報にアクセスした後、Explorer.exe が不安定になることから、DeviceControl の動作開始タイミングを遅らせることで不安定な状態を回避できます。なお、設定することで USB の認識に時間がかかるようになります。通常は設定する必要はありません。

DeviceControl 管理者ツールの操作

設定読込み

[設定読込み]をクリックすることで、過去に作成した設定内容（設定ファイル）を読み込むことができます。

※設定ファイルの保存方法は、次項をご参照ください。

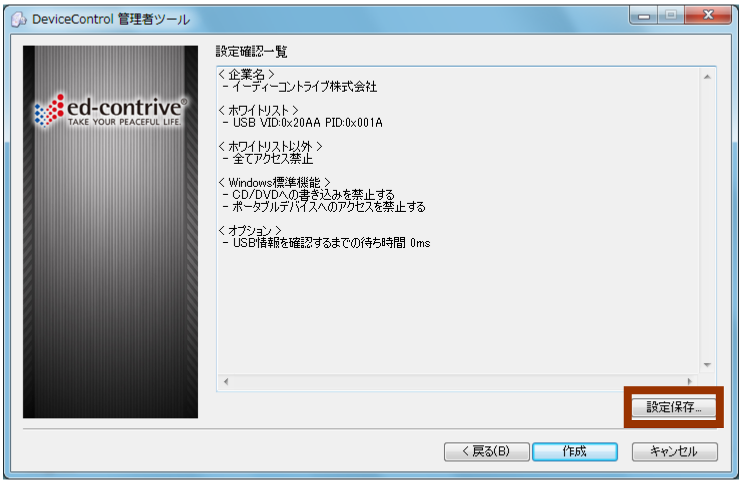


設定保存

設定画面にて[次へ]をクリックすることで、設定確認一覧画面が表示されます。

[設定保存]をクリックすることで、設定内容を設定ファイルとして保存できます。

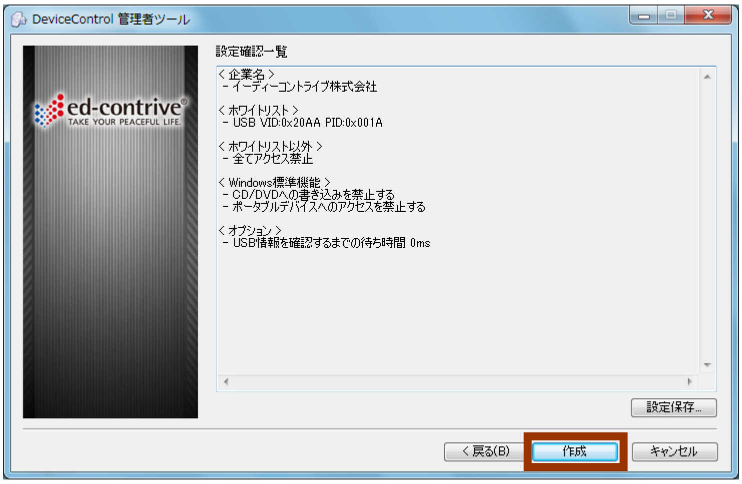
保存した設定内容（設定ファイル）は設定画面の[設定読込み]より読み込むことができます。



DeviceControl 管理者ツールの操作

クライアント用インストーラの作成

[作成]をクリックすることで、DeviceControl のクライアント用インストーラを作成することができます。

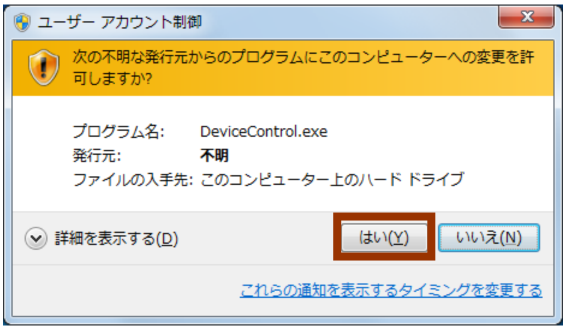


各クライアント PC に DeviceControl プログラムをインストールするためのインストーラになります。
インストールすることで、設定したポリシーを適用することができます。

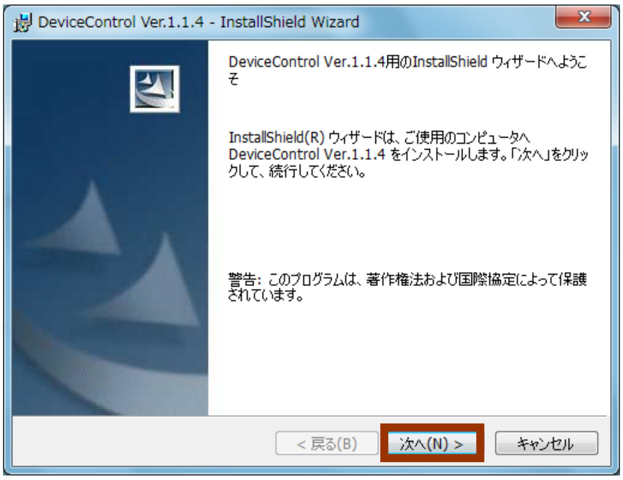
クライアント用インストーラの操作

１）作成したクライアント用インストーラをダブルクリックします。
　※例では DeviceControl.exe というファイル名で作成しています。

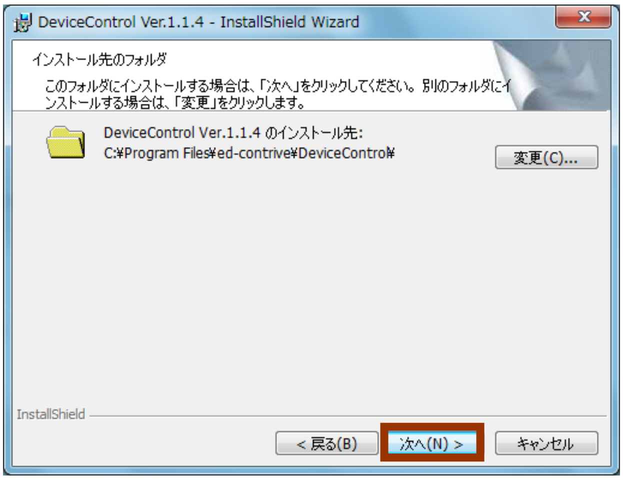
※Windows 7 等で UAC を有効にしている場合は右図のような確認画面が表示されることがありますが続行してください。



２）[次へ]をクリックします。

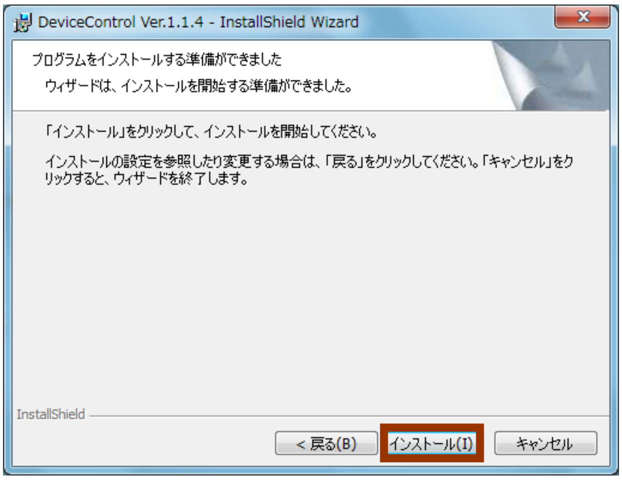


３）インストール先のフォルダに変更が必要ない場合はそのまま[次へ]をクリックします。

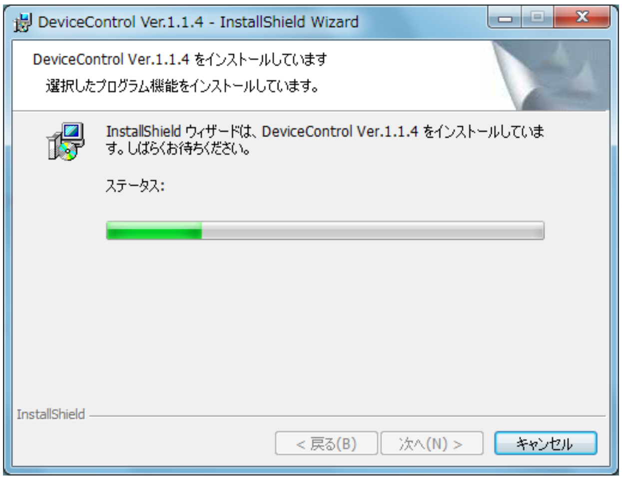


クライアント用インストーラの操作

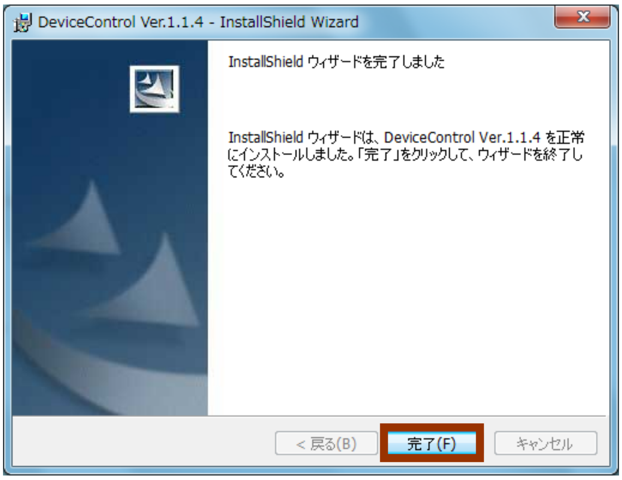
4）プログラムをインストールする準備ができましたので、[インストール]をクリックします。



5）インストールが始まりますので、しばらくお待ちください。



6）「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、[完了]をクリックしてください。



7）DeviceControl の設定を有効にするため、PC を再起動する必要がありますので[はい]をクリックします。
以上でインストールは完了です。
再起動後に設定が有効になります。

その他

ホワイトリストの適用について

ストレージを、ホワイトリストの USB ストレージ情報で上から評価していき、一致した場合その設定が有効になります。
全ての USB ストレージ情報と一致しなかった場合、次にドライブレターを評価し、一致した場合その設定が有効になります。
全てのドライブレターと一致しなかった場合、「ホワイトリスト以外」の設定になります。

※USB ストレージ情報＝ベンダーID/プロダクト ID/シリアル番号/製造者/プロダクト/初期化ツール ID

《ホワイトリスト適用例》

＜設定条件例＞
①ベンダーID/プロダクト ID ＝ TRAVENTY™ SuperVision の情報
②ホワイトリスト以外 ＝ 全てアクセス禁止
③TRAVENTY™ SuperVision 内の初期化ツール ID ＝ ″test1″

（上記条件での動作例）

①	１行目：　ベンダーID、プロダクト ID ２行目：　ベンダーID、プロダクト ID、読み取り専用 →TRAVENTY™ SuperVision なら、１行目の設定を適用 →以外のストレージは、アクセス禁止
②	１行目：　ベンダーID、プロダクト ID ２行目：　ベンダーID、プロダクト ID、初期化ツール ID（test1） →TRAVENTY™ SuperVision なら、１行目の設定を適用 →以外のストレージは、アクセス禁止
③	１行目：　ベンダーID、プロダクト ID、初期化ツール ID（test2） ２行目：　ベンダーID、プロダクト ID、初期化ツール ID（test1） →TRAVENTY™ SuperVision なら、２行目の設定を適用 →以外のストレージは、アクセス禁止
④	１行目：　ベンダーID、プロダクト ID、初期化ツール ID（test1）、読み取り専用 ２行目：　ベンダーID、プロダクト ID →TRAVENTY™ SuperVision なら、１行目の設定を適用 →以外のストレージは、アクセス禁止
⑤	１行目：　F ドライブ、読み取り専用 ２行目：　ベンダーID、プロダクト ID、初期化ツール ID（test1） →TRAVENTY™ SuperVision なら、２行目の設定を適用 →以外のストレージは、F ドライブと認識されれば１行目の設定を適用 認識されない場合は、アクセス禁止
⑥	１行目：　F ドライブ →ホワイトリストに指定していない USB メモリが、F ドライブと認識されれば 書き込みが可能になってしまいます。認識されない場合は、アクセス禁止

ソフトウェア使用許諾書

1　本ソフトウェア（以下、本ソフトウェアから生成されるクライアント用インストーラ含む）は、イーディーコントライブ株式会社の著作物です。したがって、本ソフトウェア及び本書の全部または一部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2　本ソフトウェア及び本書の内容については､改良のために予告なく変更することがあります。

3　弊社（その許諾者含む）は、お客様、あるいは他の第三者に対して、一切の明示あるいは黙示の保証を行いません。また、本ソフトウェアの機能がお客様の要求に合致していることも、本ソフトウェアに欠陥がないことも一切保証致しません｡本ソフトウェアの使用または使用できないことにより生じる損害、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、特別損害、または利益の損失につき、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

4　本ソフトウェアの著作権等の知的財産は､いかなる場合においてもお客様に移転されません。

5　本ソフトウェアのソースコードについては、いかなる場合においてもお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解析するため本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングをすることを禁止します。

6　書面による事前の承諾を得ずに本ソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。

7　本製品に関し、日本国内でのみテクニカルサポート及びアフターサービス等を行っております。

8　本ソフトウェアは､「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸送既製品に該当する場合があります｡国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

9　本ソフトウェアは医療機器や人命に直接間接的に関わるシステム、高い安全性が要求される設備や機器に組み込んでの使用は意図されておりません｡これらのシステムや設備等に本ソフトウェアを使用され､本ソフトウェアの動作により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

10 本ソフトウェアは、一時に一台のパソコンにおいてのみ使用することができます。また、本ソフトウェアで生成されるクライアント用インストーラは､ライセンス証書により使用許諾されたライセンス数と同数のコンピュータに導入し利用することができます。

11 本ソフトウェアまたはその使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転等の処分を行うことを禁止します。

12 本ソフトウェアに起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償は、本ソフトウェアの購入代金と同額を上限と致します。

13 当社は、お客様が上記のいずれかに違反された場合は、いつでも本ソフトウェアの使用を終了させることができるものとします。